



自主・自律・連帯

～新年を迎える～

田辺市立
明洋中学校
学校だより
令和3年1月号

地域・保護者の皆さま、新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましてはすこやかに新春をお迎えのことと存じます。また旧年中は本校教育の充実にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年も変わらぬご支援のほうよろしくお願ひいたします。

さて、今年は丑(牛)年です。牛は古くから農作業や物を運ぶときの労働力として、人間の生活に欠かせない動物でした。勤勉に良く働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物です。動きは緩慢ですが、歩みの速い丑(牛)の年は先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年と言われています。明洋中学校としても本年も一步一步着実に前に進んでいきたいと思います。ご協力よろしくお願ひします。

△長かった2学期終了

長かった2学期がようやく無事終了いたしました。毎年でも2学期は一番長く70日を超える授業日数がありますが、本年度は2学期のスタートが8月17日となり、授業日数は90日となりました。9月には体育大会、10月には修学旅行や新人戦、11月には文化発表会と実に様々な行事がありましたが、生徒たちは本当に頑張ったと思います。

3学期は締めくくりの学期となります。特に3年生は進路決定という大きな節目を迎えます。生徒一人一人の進路実現むけて、教職員一同バックアップしていきたいと思います。

△文化発表会を行いました

11月21日、本校で文化発表会を実施いたしました。本年度はコロナウイルス感染症の予防のために、規模を縮小して実施しました。午前中は、1・2年生の保護者の方に来ていただき、授業と作品展示の参観をしていただきました。午後は3年生の保護者の方に来ていただき、プラスバンド部の演奏と「劇団MEIYO」の演劇発表と作品展示を参観していただきました。特にプラスバンド部はこの演奏をもって3年生が引退するとあって、気持ちのこもった演奏を聞かせていただきました。また「劇団MEIYO」を演じた3年生は、今年度は修学旅行が10月に行われたことで練習時間が少なく大変でしたが、精一杯やりきってくれました。時間は短かったですですが大変すばらしい文化発表会となりました。しかし、毎年楽しみにしていた地域の皆さま方に見ていただくことができず申し訳ありませんでした。



避難訓練を実施しました

本校では緊急の事態に備え年間4回の避難訓練を行っていますが、避難訓練がマンネリ化に陥らないよう、想定をかえて実施しています。

今回（11月27日）は、重大な事件が学校近くで発生したと想定し、地区ごとに分かれ集団下校する訓練を実施しました。

全校生徒が運動場に集合した後、自宅のある地区ごとに分かれ、職員の誘導のもと一斉下校しました。集団登校や下校は小学校では多く実施していますが、中学校では実施しているところが少なく、本校は今回で3回目となりました。

様々な形態の避難訓練を実施することで、状況に応じ臨機応変に行動できる生徒の育成をめざしています。

文責：明洋中学校

中部公民館だより

令和3年 1月号

発行 田辺市中部公民館
田辺市中部公民館事務局
〒646-0036
田辺市上屋敷一丁目2番1号（田辺第一小学校内）
館長 田嶋 貞彦 主事 小林 大斗
TEL 22-0009 FAX 34-2914



謹んで新春のお祝いを申し上げます

併せて皆様のご慶福を心よりお祈り申し上げます。

平素は中部公民館の事業及び活動にあたりご理解とご協力を賜り、改めて深い敬意を表し、感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により世界中を震撼させる未曾有の一年間でした。

この中部公民館も色々な行事を自粛・縮小を余儀なくせざるをえませんでした。今年こそ、早い時期に終息して例年のように皆様のご協力のもと、地域文化の向上、学びの場・交流の場、防災減災に支えあう事ができる年でありますように切に希望いたします。

誰もが元気で明るい生活を送り、優しく包んでくれるような地域をつくるために、絆やコミュニティの場・未来を担う人材の育成などが必要です。「地域の公民館が人と人を結ぶコーディネーター」としての役割を担い、地域のニーズにあった公民館活動を展開し、お互いに研究を深め皆様と協働していくことが大切だと思います。

本年も微力ながら地道に進んでまいりたいと思います。地域の皆様の変わらないご支援・ご協力をお願い申し上げます。

併せて、本年は明るい年でありますよう、皆様のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

令和3年1月1日

田辺市中部公民館

館長 田嶋 貞彦

主事 小林 大斗

